

助産管理学

単位数：2単位

- 橋本 美幸：臨床看護学講座准教授
- 伊藤 智子：地域・老年看護学講座教授
- 松浦 志保：臨床看護学講座講師
- 三島 みどり：島根県立大学名誉教授
- 比良 静代：比良助産院院長
- 高村 浩美：隠岐広域連後立隠岐病院師長
- 数森 和栄：島根大学附属病院師長
- 渋川 あゆみ：マザリー産科婦人科医院 副院長
- 島根県健康福祉部医療施策課課長

1. 科目の教育方針

マネジメントの基本的考え方を学び、周産期医療の質と安全を担保する助産管理と目標管理について学修する。

臨床・地域の健康問題や課題の解決に向けた看護・助産の政策的働きかけと政策提言までのプロセスについて理解を深め、専門領域から政策提言ができる基礎的能力を培う。

2. 教育目標

- 1) マネジメントの基本的考え方を理解し、助産管理の在り方について考える。
- 2) 目標管理について理解し、自身の目標管理を考えることができる。
- 3) 様々な助産実践の場での（総合病院、診療所、助産所）における管理運営（医療法・保助看法、安全性）について理解できる。
- 4) 周産期医療システム、助産師外来・院内助産など助産管理運営について理解する。
- 5) 看護の政策的働きかけと政策提言について学修し、臨床や地域の周産期医療、母子保健の現状の改善と課題解決に向けた方策・運営について理解できる。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

対面、Webex、Teamsによるライブ配信、オンデマンドを併用しながら講義を進める。

保健医療福祉政策論（伊藤智子教授）の伊藤先生(1,4~5回)、牧野先生(2~3回)、馬庭先生(10~12回)の講義を聴講し、社会・医療・保健・看護等の政策について学び、分析、改善・改革にむけた取り組み方法について理解する。この学びを基に、少子化、母子保健、周産期医療に関連する行政・国の政策の現状と課題の分析を行い、今後の母子保健や医療の在り方等について考察する。。

この科目は地域助産学演習の基盤の科目となります。

【評価】

学生のプレゼンテーション、レポートにて総合的に評価する。

4. 使用テキスト、参考文献等

【使用テキスト】

- 1) 我部山キヨ子, 毛利多恵子編：助産学講座 10 助産管理, 第 5 版, 2016, 医学書院
- 2) 福井トシ子編：[新版]助産師業務要覧 第 3 版 [Ⅰ基礎編] 2021 年版, 日本看護協会出版会
- 3) 福井トシ子編：[新版]助産師業務要覧 第 3 版 [Ⅱ実践編] 2021 年度版, 日本看護協会出版会
- 4) 福井トシ子編：[新版]助産師業務要覧 第 3 版 [Ⅲアドバンス編] 2020 年度版, 日本看護協会出版会

【参考文献】

- 1) 日本助産師会：助産業務ガイドライン 2019
- 2) 助産所開業マニュアル、日本助産師会
- 3) 見籐隆子、石田昌宏、大串正樹、他：看護職者のための政策過程入門 第 2 版—制度を変えると看護が変わる—、日本看護協会出版会

5. 教育内容

回	内 容	講師
1	助産管理の概念：助産管理と評価、目標管理 マネジメント管理の基本概念（ドラッカー理論）	橋本
2	産科医療事故とリスクマネジメント	松浦
3	助産管理の実際-助産所- 助産所の運営と助産業務管理、開業準備	比良
4	助産管理の実際-離島病院 - 隠岐病院の管理、院内助産	高村
5	助産管理の実際 - 総合周産期母子医療センター -	数森
6	助産管理の実際 - 院内助産、子育て研究所	渋川
7	看護協会と助産師活動 助産師のキャリア支援	渋川
8	助産管理演習(1) 助産所開業の準備演習	橋本
9	助産管理演習(2) 助産所開業の準備演習	橋本
10	災害時における助産管理	橋本
11	島根県の母子保健施策	(島根県 健康福祉部 医療施策課)

12	保健医療福祉政策論	伊藤
13	保健医療福祉政策論	伊藤
14	保健医療福祉政策論	伊藤
15	保健医療福祉政策論	伊藤